



共同研究プロジェクト

「子どもと絵本・本
に関する研究」

園・図書館・地域社会に関する研究から

子どもの絵本・本、メディア環境を豊かにするために必要なことは？

高橋翠（東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター・特任助教）

子ども・家庭に関する研究から明らかにされてきたこと①

絵本・本、メディアと子どもの発達

- **読書時間**は認知能力・非認知能力どちらにも**ポジティブな影響**を与える可能性がある
- **スクリーン・タイム**の長さは認知能力に対して**ややネガティブな影響**を与える可能性がある



豊かな絵本・本環境 の保障と拡充

利用可能な絵本・本の数や種類、
共同読みの機会等

メディア環境の コーディネート

利用のコントロールや
良質なコンテンツへのアクセス等

子ども・家庭のレイヤーに関する研究から明らかにされてきたこと②

豊かな絵本・本環境 の保障と拡充

利用可能な絵本・本の数や種類、
共同読みの機会等

家庭の絵本・本環境に関する実態

- 絵本・本の蔵書数や読み聞かせ時間には家庭格差がある
- 全体として読み聞かせ時間が減少している

メディア環境の コーディネート

利用のコントロールや
良質なコンテンツへのアクセス等

家庭のメディア環境に関する実態

- スクリーン・タイムが増加している
- 子どもが一人でメディアにアクセスする時間も増加している

園-学校や地域の公立（公共）図書館を捉える際の枠組み

- ① 子どもが家庭の外で絵本・本、メディアに触れることのできる場
- ② 地域システムとして子どもの絵本・本、メディア環境を支える場
 - ✓ 園-学校・図書館⇔家庭の連携
 - ✓ 図書館⇔園-学校・その他施設

※図書館は特に地域の子どもの読書活動の推進に向けて中心的な役割を果たすよう位置づけられている
(子どもの読書活動の推進基本計画より)



園-学校や地域の図書館を捉える際の枠組みを踏まえた 子どもの絵本・本、メディア環境の実態の把握と政策提言

豊かな絵本・本環境
の保障と拡充

メディア環境の
コーディネート

- ① 子どもが家庭の外で絵本・本、
メディアに触れることのできる場
- ② 地域システムとして子どもの
絵本・本、メディア環境を支える場



- 近年、子どもの発達や生涯にわたる心理・社会的な適応に対する乳幼児期の重要性が強調されているため、ここまで特に乳幼児期に着目して研究を実施してきた
- 今回は保育・幼児教育施設と乳幼児期の読書活動の推進に向けた公立図書館の取り組みに特に焦点を当てる

園の絵本・本環境の実態①

蔵書数

豊かな絵本・本環境
の保障と拡充

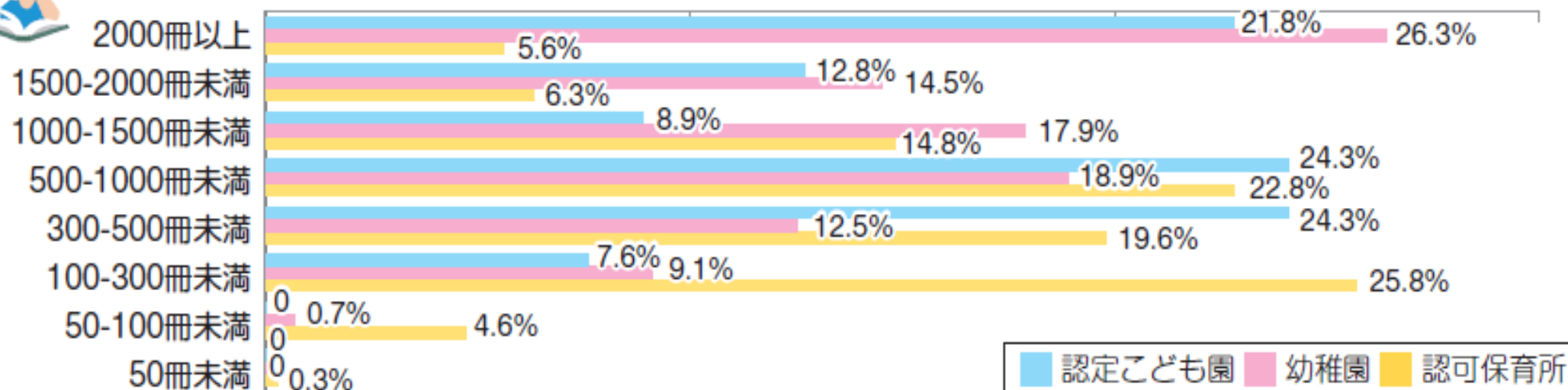


- 園の蔵書数には格差がある（施設形態による差、施設形態内での差）



絵本の蔵書数の割合

施設形態別



園の絵本・本環境の実態②

絵本・本購入のための年間予算

豊かな絵本・本環境
の保障と拡充

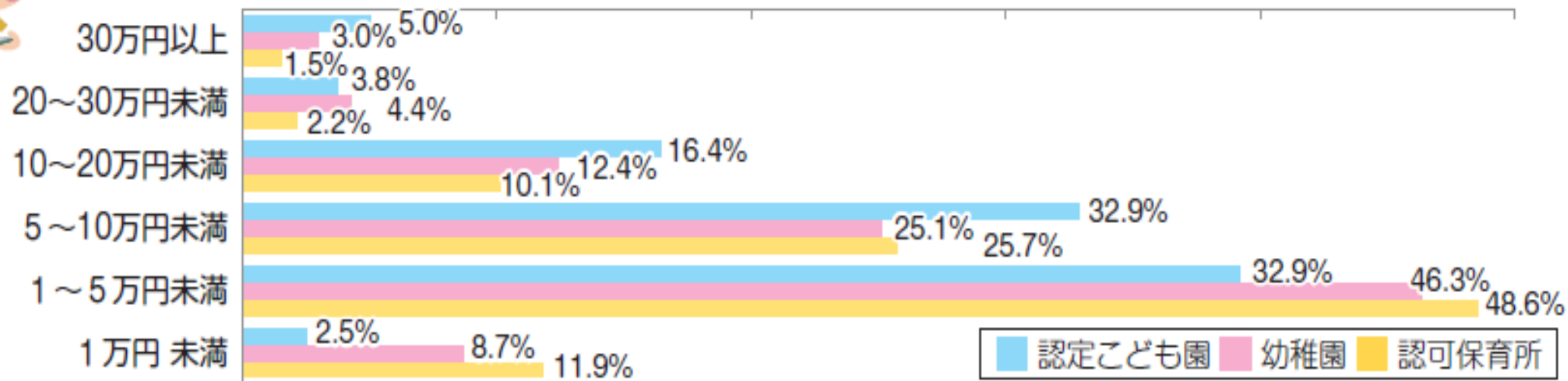


- 絵本・本を購入するための年間予算にも格差がある（施設形態による差、施設形態内での差）



年間の絵本予算の割合

施設形態別



園の絵本・本環境の実態③

絵本・本の蔵書数の施設比較

豊かな絵本・本環境
の保障と拡充



- 小・中学校との蔵書数の比較（予算についても同様の結果）

表3 各施設の蔵書数・子ども一人あたりの蔵書数の概算値

施設形態	(a) 施設あたり 平均人数 (名)	施設あたり蔵書数 (冊)		子ども一人あたりの蔵書数 (冊)					
		(b) 平均値	SD	(c) 参考値 (b/a)	平均値 (算術)	SD	四分位 (25%)	四分位 (50%)	四分位 (75%)
認可保育所	93.1	742.8	726.8	8.0	10.8	18.1	2.6	6.3	12.0
幼稚園	112.7	1518.6	1359.0	13.5	21.9	25.1	5.9	15.0	30.5
認定こども園	132.6	1363.3	1481.5	10.3	12.8	18.2	3.6	7.3	14.6
その他施設	45.5	237.1	376.2	5.2	6.6	6.3	2.5	5.2	7.9
小学校	322.7	10,335	—	32.0	—	—	—	—	—
中学校	314.8	11,579	—	36.8	—	—	—	—	—

園の絵本・本環境の実態③

絵本・本のための予算の施設比較

豊かな絵本・本環境
の保障と拡充



- 小・中学校との年間予算の比較（予算についても同様の結果）

各施設形態の年間予算・子ども一人あたりの年間予算の概算値

施設形態	(a) 施設あたり 平均人数 (名)	年間予算額 (円)		子ども一人あたりの予算額 (円)					
		(b) 平均値	SD	(c) 参考値 (b/a)	平均値 (算術)	SD	四分位 (25%)	四分位 (50%)	四分位 (75%)
認可保育所	93.1	59657.8	57731.0	640.9	761.0	911.8	283.7	525.4	937.5
幼稚園	112.7	71795.3	70248.8	637.1	985.1	1125.7	300.0	625.0	1250.0
認定こども園	132.6	85949.4	74300.5	648.4	778.1	778.0	288.5	476.2	970.6
その他施設	45.5	38448.3	37419.0	844.5	1146.2	771.7	500.0	1111.1	1578.9
小学校	322.7	498,000	—	1543.0	—	—	—	—	—
中学校	314.8	587,000	—	1865.0	—	—	—	—	—

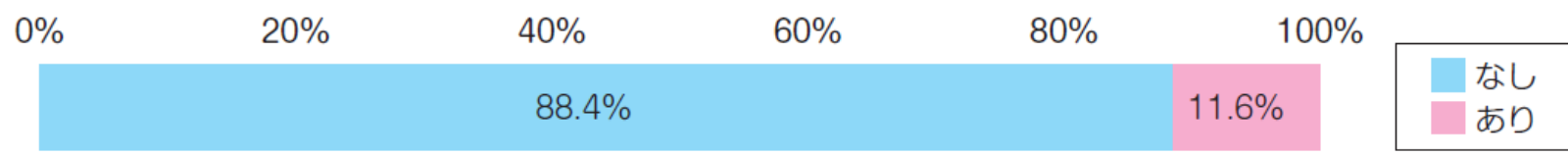


園の絵本・本環境の実態を踏まえた提言

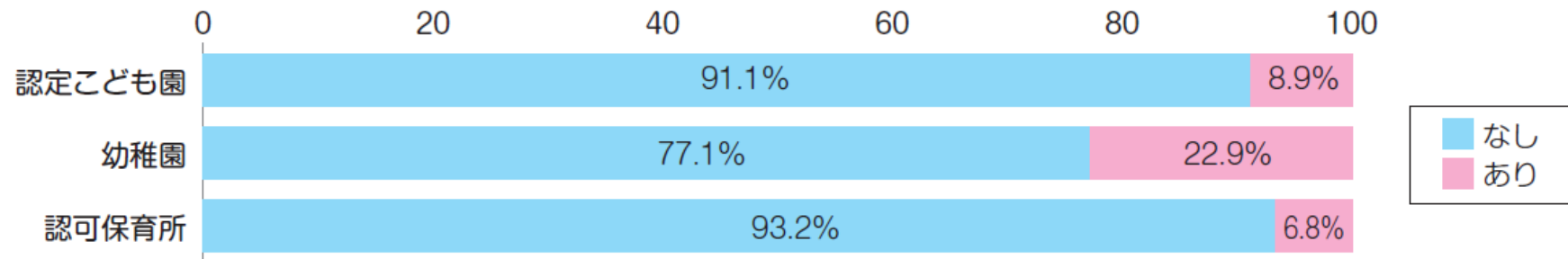
- 1. 蔵書数や蔵書構成の目安・基準値の策定が必要
- 2. 蔵書数・蔵書構成の目安・基準値に合わせた財政支援が必要



園でお子さんが使用する「絵本の購入にあたって、自治体の費用負担はありますか。」



施設形態別：補助金の有無の場合（有効回答のみ）



園の絵本・本環境の実態④

園の絵本・本環境を支える保護者／家庭の読書活動を支える園

豊かな絵本・本環境
の保障と拡充



- 蔵書数や予算の多寡に関する分析の結果、**保護者の重要性**が明らかに
 - 保護者から希望が出たときに購入している、保護者が購入する絵本・本を選択するとしている場合に蔵書や年間予算が多い
 - 認定こども園では、保護者の費用負担がある場合に園の蔵書数が少ない
- 一方、園の取り組みに関する自由回答では、蔵書の貸し出しやおすすめ絵本・本の紹介等が挙げられていた

園の絵本・本環境の実態を踏まえた提言：

3. 指針・要領等の保護者連携に関する部分に絵本・本での連携の観点を盛り込む
4. 園での地域子育て支援に家庭の絵本・本環境支援に関する取り組みを加える

園の絵本・本環境の実態⑤

園の絵本・本環境を支える近隣施設（図書館）

豊かな絵本・本環境
の保障と拡充



- 蔵書数や予算の多寡に関する分析の結果、**地域施設の重要性**が明らかに
 - 認可保育所、幼稚園、認定こども園全てについて、近隣の施設を活用しているとした園は絵本・本を購入するための**年間予算が少ない**傾向がみられた
(新刊など園にない絵本・本を利用するために近隣施設を活用している可能性)

園の絵本・本環境の実態を踏まえた提言：

5. 子どもの絵本・本に地域システムの視点を取り入れたうえで、地域の読書センターとしての後方支援体制を強化していく必要がある

図書館の取り組みの実態①

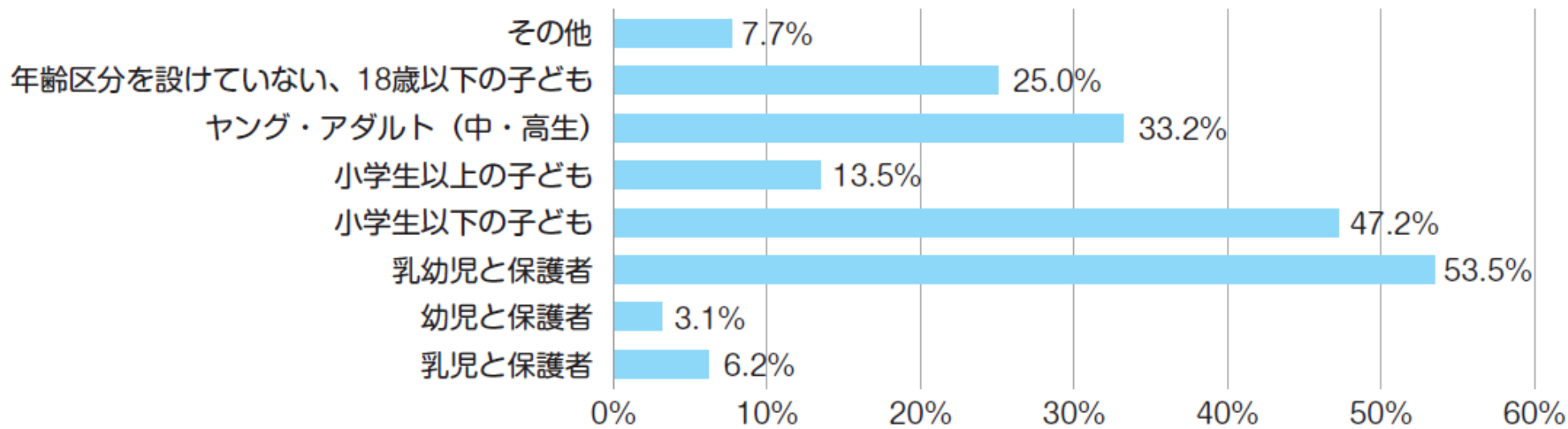
子どもと保護者のアクセシビリティ

豊かな絵本・本環境
の保障と拡充



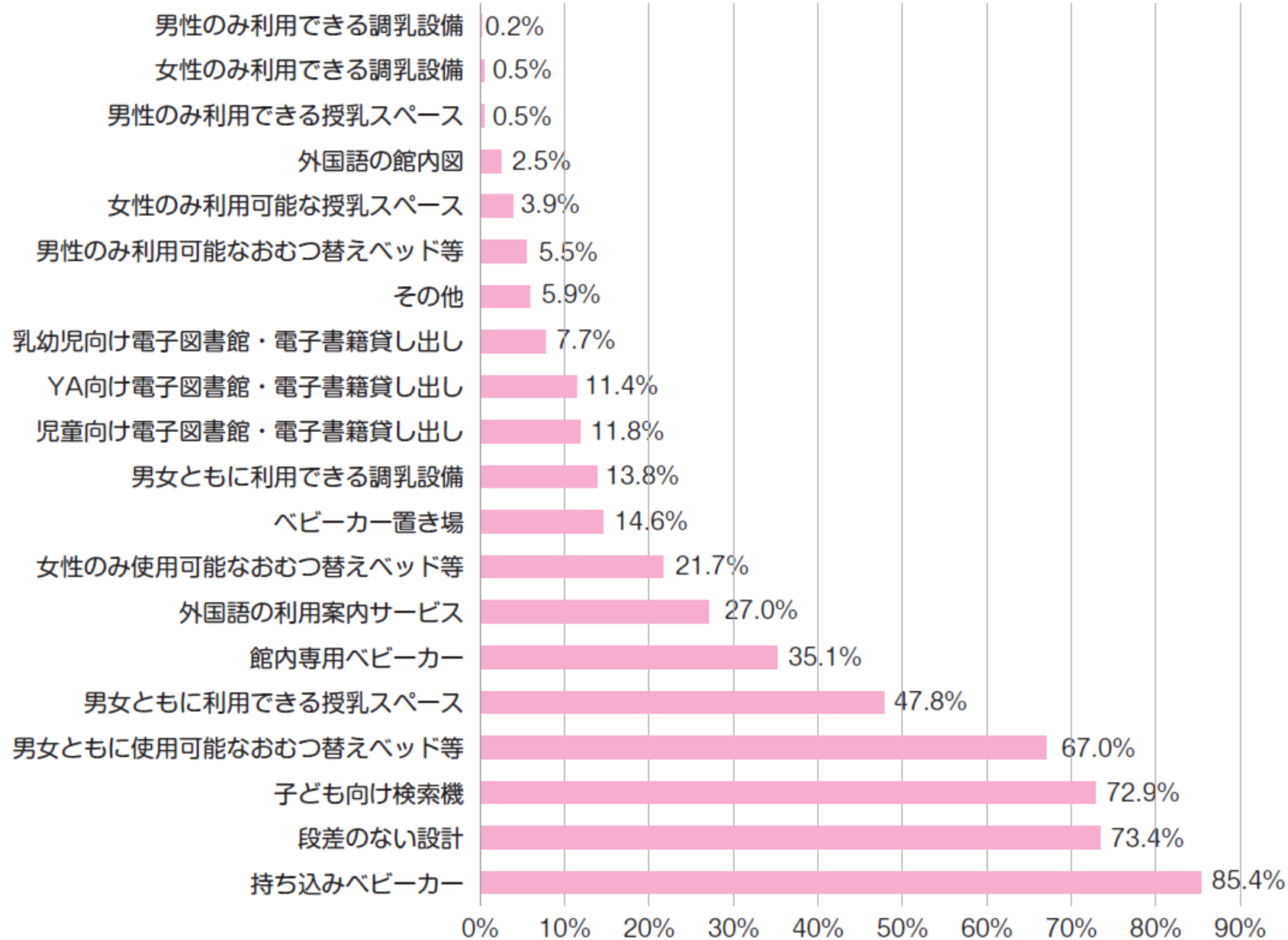
○ 子どもが利用しやすい環境が整備されている／整備が進められている

子どものための区画・閲覧スペース



※特定の区画や座席を、特定の年齢の子どもや親子連れの優先利用区画や優先席としている場合も区画・閲覧スペースに含めていただくよう依頼した。

子どもと保護者のための設備やサービスの導入割合



豊かな絵本・本環境
の保障と拡充



図書館の取り組みの実態②

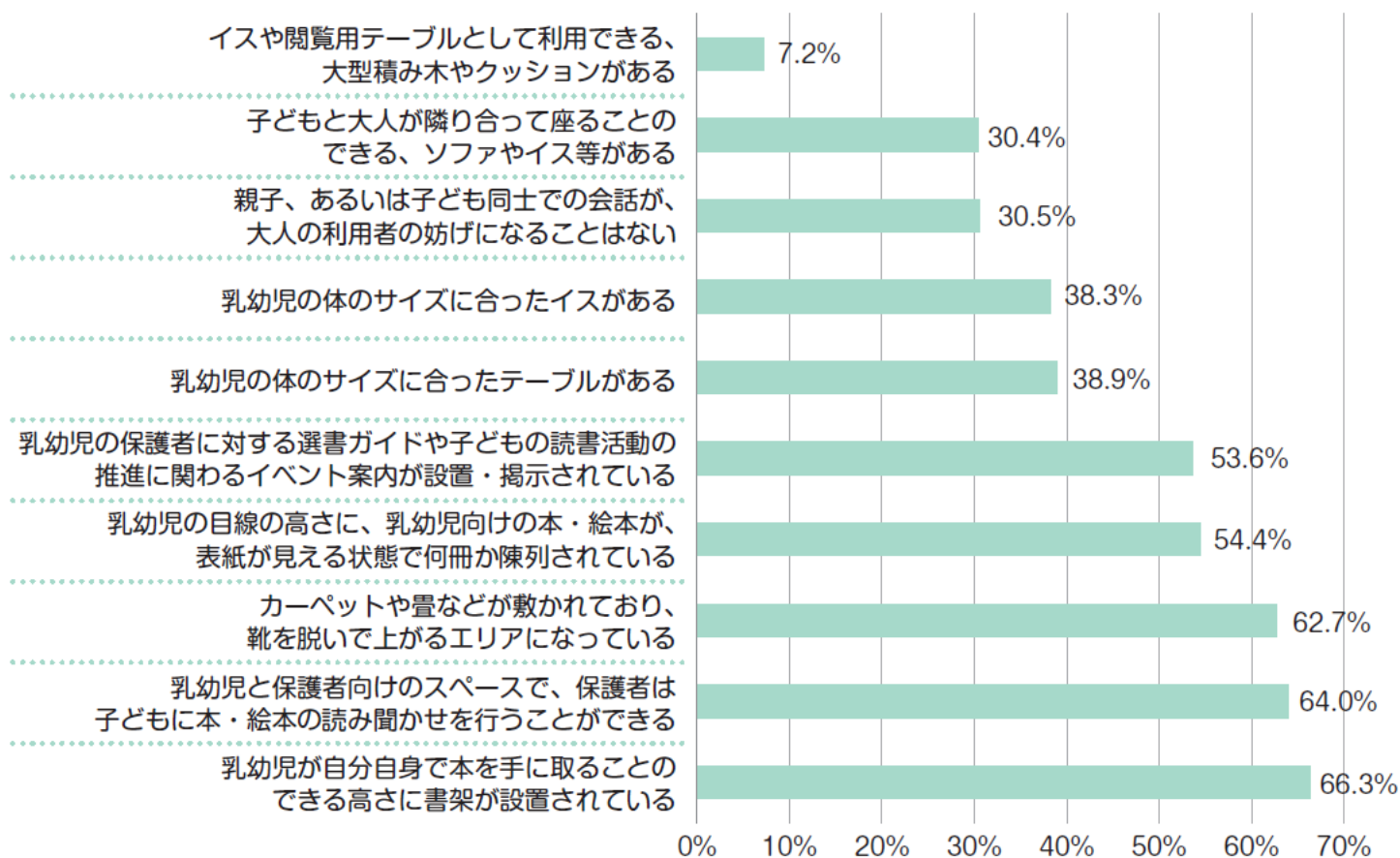
子どもが絵本・本に親しむことのできる環境づくり

豊かな絵本・本環境
の保障と拡充



- 乳幼児が自分自身で／保護者と絵本・本に親しむことができるよう様々な環境構成上の工夫が加えられている

乳幼児とその保護者のためのスペースにおける環境構成



写真でみる公立図書館・図書室の 乳幼児・保護者のためのスペース事例集

- 公立図書館調査にご協力いただいた図書館・図書室の皆様から18歳未満の子どもを対象とした区画・閲覧スペースの写真と解説をご提供いただき、特に乳幼児と保護者のための環境づくりの例としてわかりやすい写真を取り上げ、分類・解説したもの
- 区画・閲覧スペースの分類と解説は、OECD Education 2030の12のデザイン原理を参照し、元Cedepセンター長の秋田喜代美先生（学習院大学教授／東京大学名誉教授）が考案した「子どもの読書環境構成のデザイン原理」に基づいている
- 写真の分類や解説は、乳幼児の読書環境や絵本と子どものかかわりについてご研究されている川村学園女子大学の菅井洋子先生が作成された

写真でみる

公立図書館・図書室の 乳幼児・保護者のための スペース事例集

子どもたちの豊かな絵本・本環境をめざして



東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター

本リーフレットの無断転載・複製はご遠慮ください。



株式会社ポブラ社

図書館の取り組みの実態③

読書活動の推進に向けた取り組み

豊かな絵本・本環境
の保障と拡充

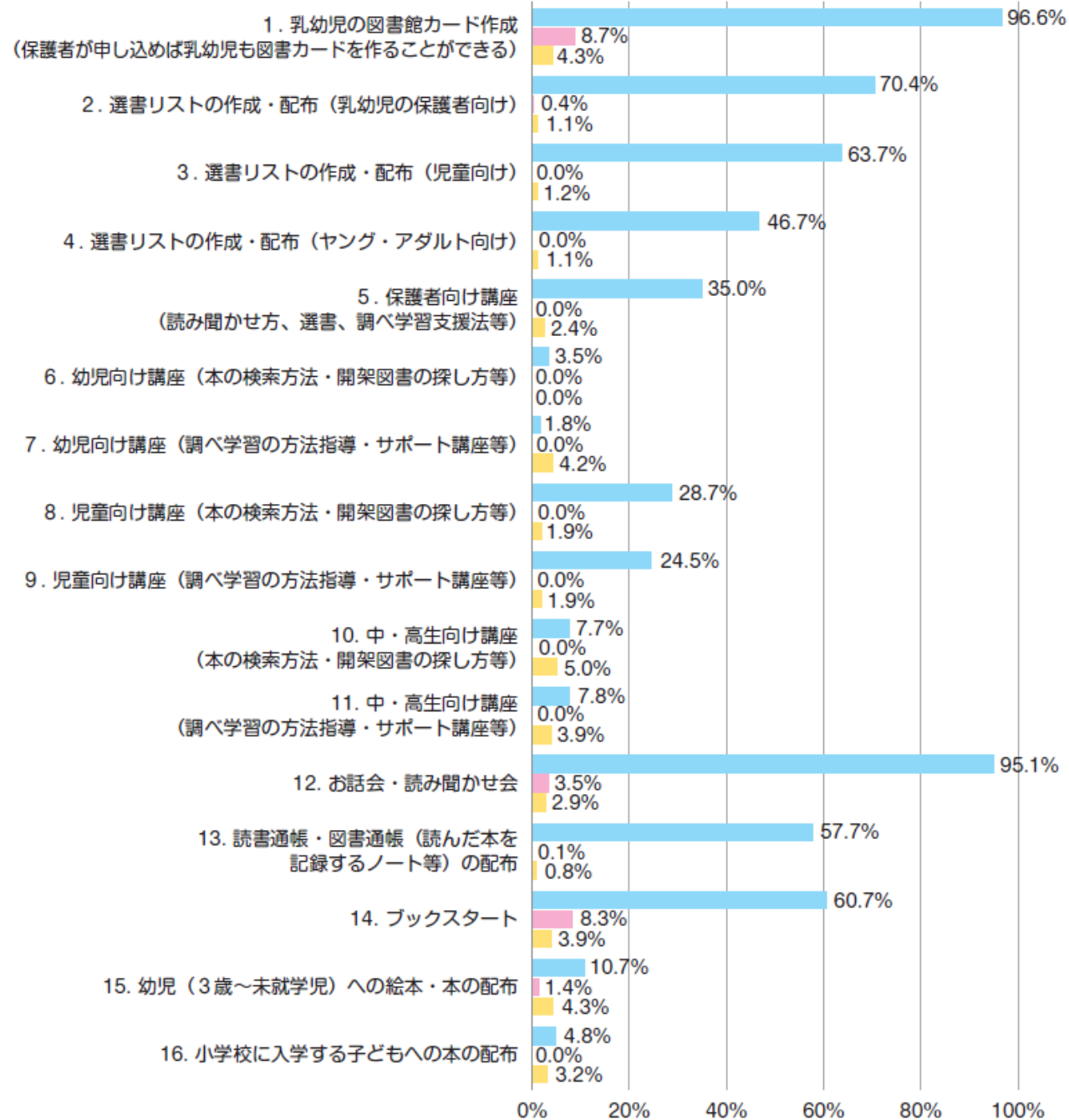


- 子どもの読書活動の推進に向けて、読み聞かせ会やブックスタート、選書リストの作成などの家庭支援も含めた**多様な取り組み**が実施されているが、その一方で、**バリアフリー対応、多言語対応の実施率は低い**
- 保育所をはじめ子どものための多様な施設に団体貸出が実施されている一方で、乳児院や児童養護施設等の家庭外で育つ子どもの場への貸し出しは少ない可能性

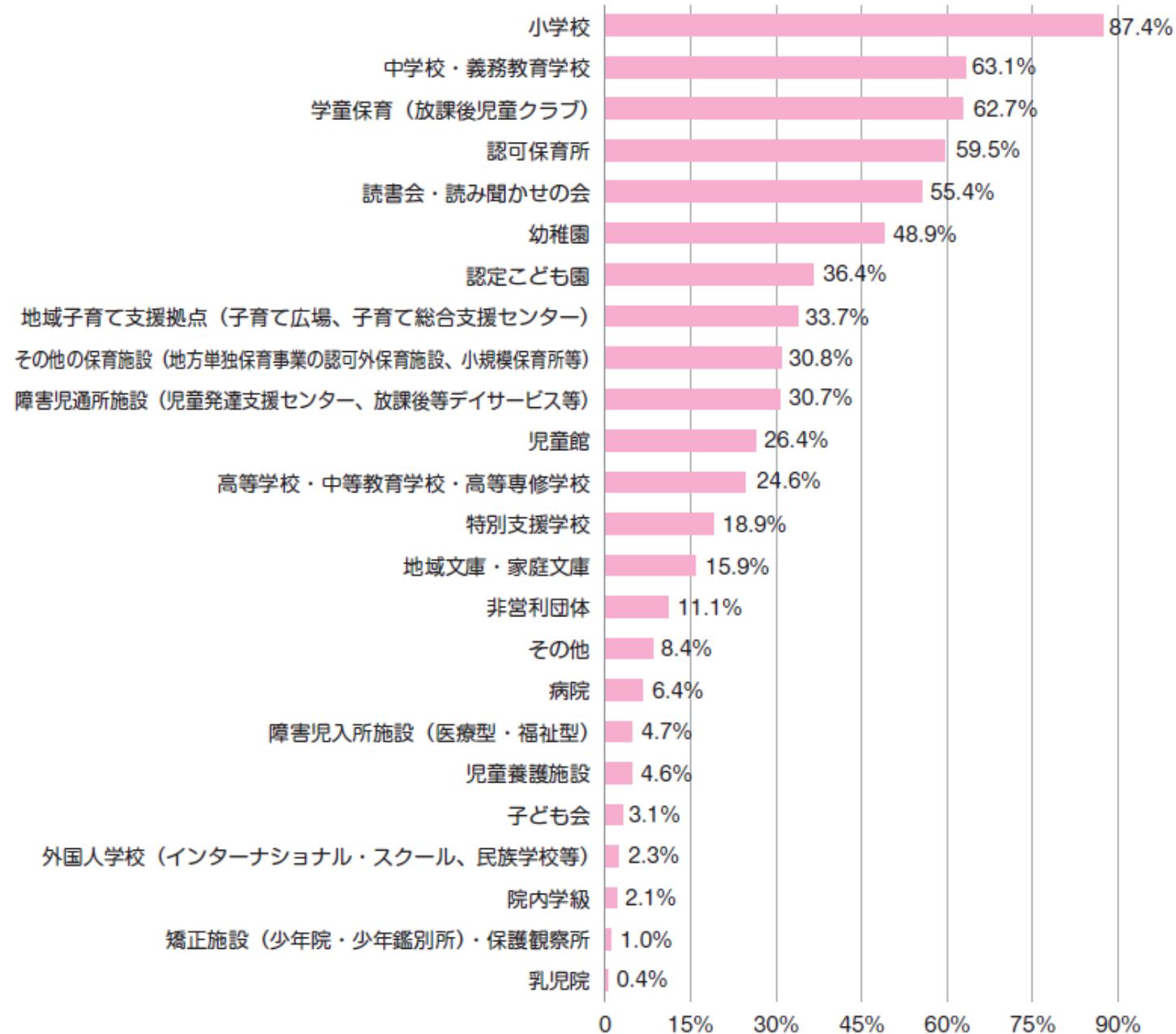
公立図書館の実態を踏まえた提言：

6. 多様な子どものための絵本・本環境整備を更に促進していく必要がある
7. 図書館の多様な活動を維持・拡充していくための人的・財政的支援が必須（常勤職員の確保等、活動予算が必須）

■ 実施率 ■ 多言語対応あり ■ バリアフリー対応あり



子どもに関わる地域の学校・施設との連携の実施状況（団体貸出の実施率）



図書館の取り組みの実態③

読書活動の推進に向けた取り組み

豊かな絵本・本環境
の保障と拡充



- 子どもの読書活動の推進に向けて、読み聞かせ会やブックスタート、選書リストの作成などの家庭支援も含めた**多様な取り組み**が実施されているが、その一方で、**バリアフリー対応、多言語対応の実施率は低い**
- 保育所をはじめ子どものための多様な施設に団体貸出が実施されている一方で、乳児院や児童養護施設等の家庭外で育つ子どもの場への貸し出しは少ない可能性

公立図書館の実態を踏まえた提言：

6. 多様な子どものための絵本・本環境整備を更に促進していく必要がある
7. 図書館の多様な活動を維持・拡充していくための人的・財政的支援が必須（常勤職員の確保等、活動予算が必須）

もう一つの課題

メディア環境の コーディネート

- 子どもが育つ環境において、デジタルメディアは「当たり前」のものになっている
- コロナ禍、および人口減少時代に直面する中で、オンライン情報システムは子どもの学びを支える重要な手段となってきている

メディア環境に関する政策提言：

8. 地域システムとして子どものメディア環境をどのように扱っていくかという議論が必要

- ✓ デジタルメディアに対するアクセシビリティの保障
- ✓ 良質なコンテンツへのアクセスの保障と有害なコンテンツの排除
- ✓ 子ども自身や保護者のためのデジタルメディア教育の設計と提供

図書館の取り組みの実態④

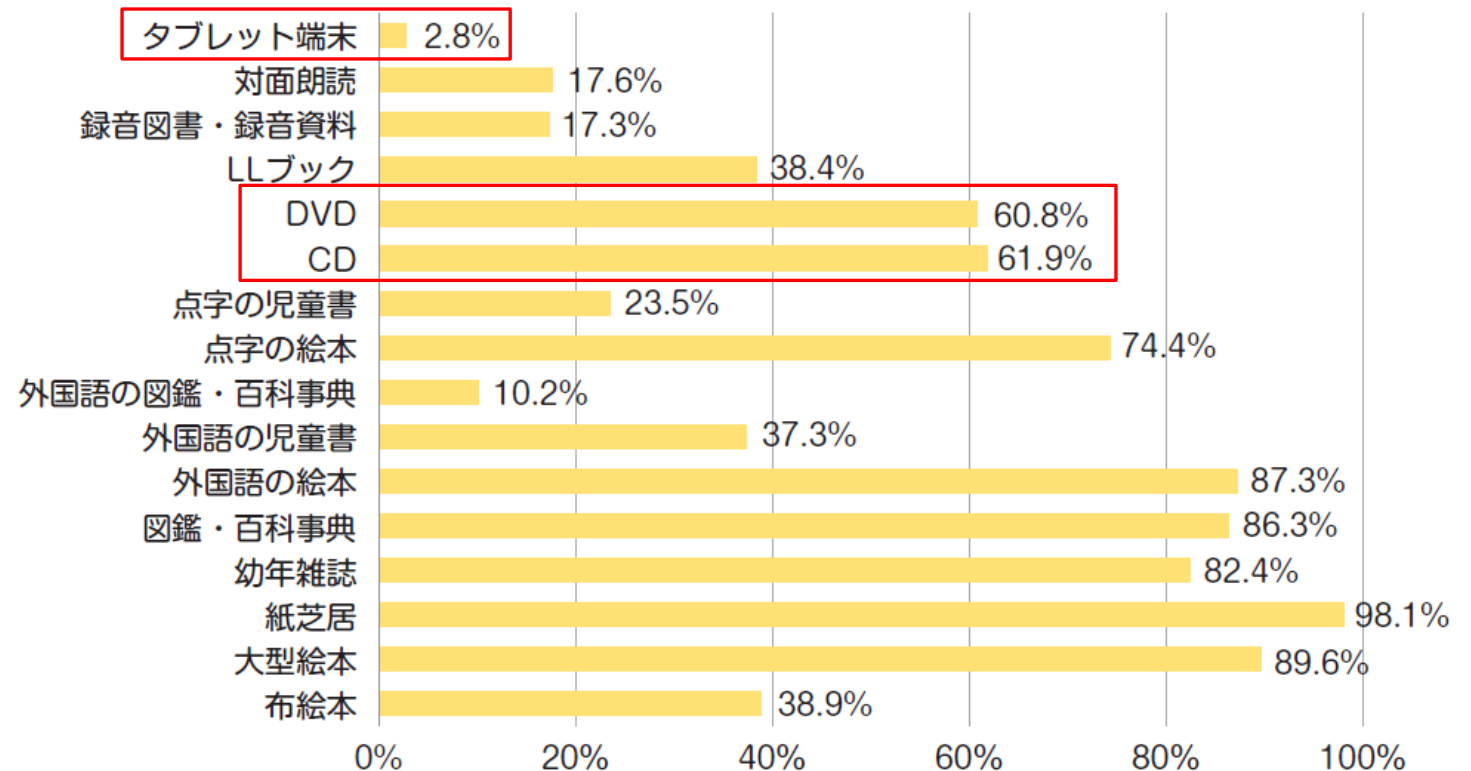
デジタルメディアに関する取り組み

メディア環境の
コーディネート

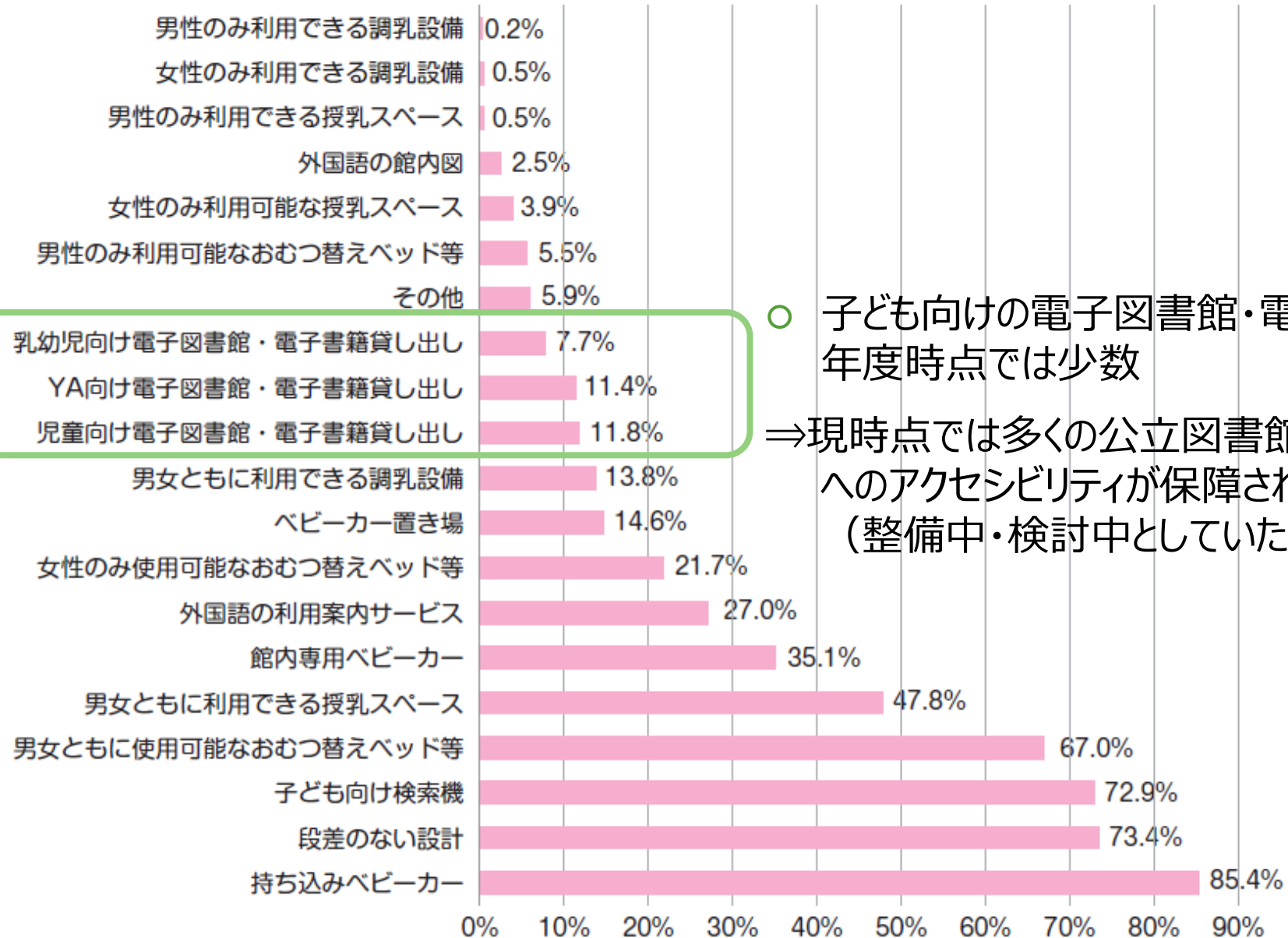


- 乳幼児とその保護者のためのサービスとして、CDやDVDは多くの図書館で利用可能であるが、タブレット端末が利用できる施設はわずか

乳幼児とその保護者のための蔵書・物品、サービス



図〇 子どもと保護者のための設備やサービスの導入割合



○ 子ども向けの電子図書館・電子図書館貸し出しは2020年度時点では少数

⇒現時点では多くの公立図書館で良質なデジタルコンテンツへのアクセシビリティが保障されているとは言い難い（整備中・検討中としていた図書館も多かった）

メディア環境の
コーディネート



GIGAスクール構想と保幼小接続

- 小学校以降ではICT機器を活用した教育が推進されている
- 学校教育における学びの環境の変化を踏まえた上で、保幼小接続で必要なこととは？
(cf. 架け橋プログラム)

<http://youchien-net.jp/yc/user/51/blog/showDetail.do?articleId=1695&blogCategoryId=1541>
https://www.mext.go.jp/content/20210511-mxt_youji-000014566_5.pdf



1. 園の蔵書数や蔵書構成の目安・基準値の策定が必要
2. 園の蔵書数・蔵書構成の目安・基準値に合わせた財政支援が必要
3. 園の指針・要領等の保護者連携に関する部分に絵本・本での連携の観点を盛り込む
4. 園での地域子育て支援に家庭の絵本・本環境支援に関する取り組みを加える
5. 子どもの絵本・本に地域システムの視点を取り入れたうえで、図書館の地域の読書センターとしての後方支援体制を強化していく必要がある
6. 図書館において多様な子どものための絵本・本環境整備を更に促進していく必要がある
7. 図書館の多様な活動を維持・拡充していくための人的・財政的支援が必須（常勤職員の確保等、活動予算が必須）
8. 地域システムとして子どものメディア環境をどのように扱っていくか、議論が必要

豊かな絵本・本、メディア環境に向けた取り組みを進めていくにあたって…

- ✓ 絵本・本、デジタルメディアが子どもの発達に与える影響に関する基礎的知見
- ✓ 令和の子どもを取り巻く様々な環境の実態に関する知見

これらを更に収集していく必要がある